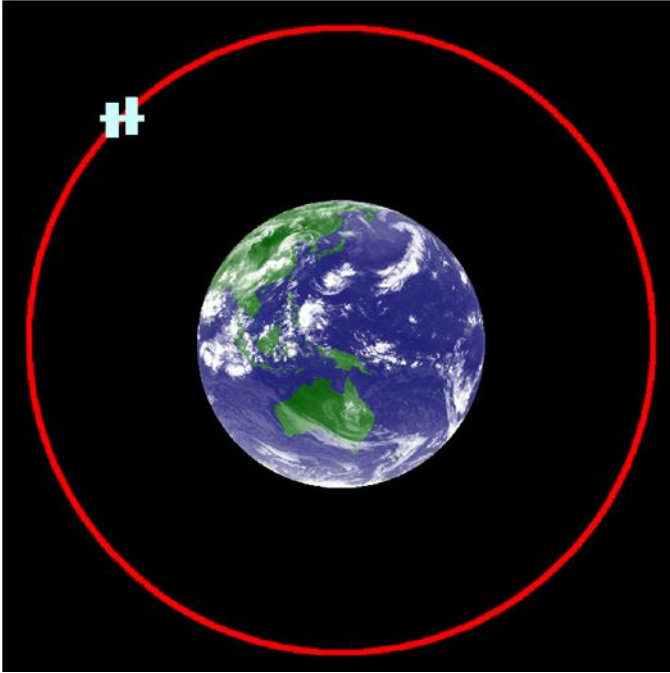


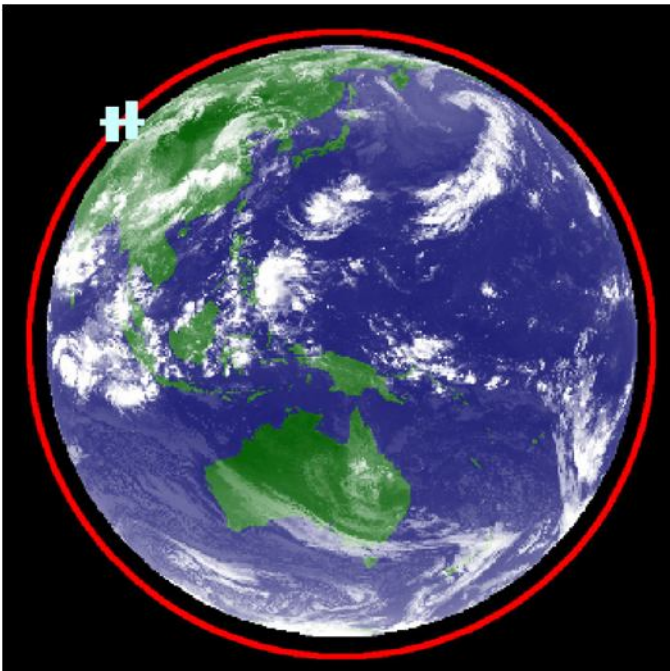
## 「国際宇宙ステーションが飛行高度」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

約 90 分で地球を一周している国際宇宙ステーション (ISS)。遠い宇宙を飛行しているように思えるだろう。イメージとしては下図のようになる。



地球の直径は約 13000km であるから、上の図の場合に ISS が飛行しているとしたら、高度は約 10000km ということになる。しかし、実際の ISS の飛行高度は地上から 400km 余りである。地球の直径と比較すると、下図のようになる。この図では、極軌道として描かれているが、実際は北極点・南極点は通らない。



実はこの図でも、地球の直径に比較すると、ISS の高度は 10000km 程度に描いている。実際は、もっと低い高度を飛んでいるわけで、「国際宇宙ステーション」というのは正確でなく、「国際高高度ステーション」と呼ぶのが正しい。

現在の ISS は太陽光パネルを合わせると、サッカー場ほどの大きさがある。この面積のものが太陽光を受けると、400km 離れていても、相当に明るく輝く。撮影方法を工夫すれば、地上からその「形」まで写すことも可能だ。



「ISS の形の撮影に成功した写真」 C.Tanaka



「森を横切る ISS の軌跡」 北軽井沢 C.Tanaka

しかし ISS は、何ととっても肉眼で見るのが一番美しい。7月 26 日と 27 日の晩に、ISS が本州上空を通過する。東京ではほぼ天頂を通過するので、非常に明るく、スマホでも撮影可能だろう。非常に楽しみだ。